

# 文学碑めぐり (26)

## 葛西善蔵文学碑

秋ぐみの 紅きをかめば  
酸くしぶく  
タネあるもかなし  
おせいもかなし 善蔵



葛西善蔵は、明治20年青森県弘前市生まれ。個性的私小説家として大正期の文壇に足跡を残しました。昭和3年死去しました。  
私小説の傑作「湖畔手記」の中の歌で、大正13年9月、湯元温泉板屋旅館に投宿し、10月10日ごろまでをかけて書きあげました。おせいは愛人の名です。碑文は善蔵の自筆で昭和43年11月、湯の湖畔の兎島自然研究路に葛西善蔵文学碑建設委員会が建立。

# 多月の園芸

## 「庭木と花木の予備知識」(1)

今月は、管理と消毒についてのアドバイスです。  
《台風前後の管理》  
九月は、台風のシーズンです。  
初旬から襲来することもあるため、支柱などで補強したり、枝が茂り過ぎになつては庭木は剪定を行うことによつて被害を多少防

ぐことができます。  
しかし、台風による被害で折れた枝などは取り除いたり、根元が動かされた樹木は、もとどおりにして支柱を立てて土をかけておくなどの作業を早めに行いましょう。  
《病虫害の防ぎ方》  
◎葉ふるい病 七月から九月にかけてマツ類に発生し、針葉に淡褐色の病斑があらわれそのまま越冬し、翌年の三月から四月に被害がひどくなつて葉が落ち、木が枯れます。  
○防ぎ方 病葉は、はき集めて焼き捨て、ダイセン水和剤400〜500倍液を散布します。  
有機質肥料が不足している土地に発生するので堆肥を散布すと効果があります。

◎ウドンコ病 湿度の高い時期に、サクラ、ウメモドキなどに発生し、葉の裏面に白い粉がついたようになります。  
○防ぎ方 モレスタン水和剤200倍〜300倍液、またはカラゼン1000倍液を散布すると効果があります。  
なお、高温時の散布は、葉害がでやすいので、涼しい時間帯に散布してください。  
◎炭そ病・褐斑病 シヤクナゲ、サツキ類に見られ、高温多湿の時期に発生します。  
枝葉に小さい黒褐色の病斑ができ、若枝に発生の場合は枝が枯れることもあります。  
○防ぎ方 ダコニール100倍液、またはダイセン水和剤600倍液を散布すると効果があります。

◎マツケムシ 成虫は、七月から八月に産卵をして秋に幼虫になり、葉を食害します。  
○防ぎ方 スミチオン乳剤1000倍液を散布すると効果があります。  
◎アブラムシ 樹木などの新葉に寄生して汁液を吸い、葉がちぢれ、ひどい場合は落葉します。  
○防ぎ方 スミチオン乳剤1000〜1500倍液、またはDDVP乳剤1000倍液を散布すると防ぐことができます。

おこころざし  
ありがとう  
ございました

〔七月一日〜三十一日扱分〕  
〔敬称略〕  
◆現金預託 ・老人福祉に 横田正吉(清滝4)三万円。  
匿名 五十万円 ・社会福祉に 吉新勇(所野)三十万円

・市共同作業所いちいの家に 野沢光枝(稲荷2)二千元。  
松原町婦人部あゆみ会 三千五百三十五円。匿名 一千元  
・下野三楽園に 匿名 一千元  
◆物品預託 ・身体障害児に 鶴島アヤ(安川)おしめ二十枚  
・野口小学校に 野口老人クラブ 竹ぼうき三十七本、ぞうきん百五十七枚

### いちい基金

児童公園(七里土地地区画整理事業地内)の都市計画決定  
市が計画しております児童公園につきましては、広報四月号で都市計画の「案」についてお知らせしましたが、日光市都市計画審議会、栃木県都市計画地方審議会の審議を経て、栃木県知事名において承認され、八月一日付けで都市計画公園として原案どおり決定(追加)いたしましたのでお知らせします。  
なお、この公園の位置等を示した図書の写しを次の場所で見覧しています。  
◆都市計画公園の名称  
○2・2・11号 ふれあい児童公園  
○2・2・12号 なかよし児童公園  
○2・2・13号 やすらぎ児童公園  
◆縦覧場所 日光市役所都市計画課(3階)  
◆縦覧期間 この計画が存する間  
◆縦覧時間 縦覧場所の執務時間内

## 高齢者交通安全運動

9月11日〜20日

おとしよりを  
交通事故から  
守りましょう

### 休日当番医

月 日	医療機関名	所在地	電 話
9月10日	高野内科	和泉	53-5311
	中禅寺医院	中宮祠	55-0039
9月15日	岡医院	下鉢石	54-0218
	中禅寺医院	中宮祠	55-0039
9月17日	河合医院	石屋町	54-1125
	中禅寺医院	中宮祠	55-0039

